

令和2年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493400194	事業の開始年月日	平成21年10月1日
		指定年月日	平成21年10月1日
法人名	株式会社ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター横浜瀬谷		
所在地	(〒246-0015) 神奈川県横浜市瀬谷区本郷3-36-5		
18サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和2年10月29日	評価結果 市町村受理日	令和3年2月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaiigo/w10/wpJDetail.s.aspx?JGN0=ST1493400194&SVCD=320&THN0=14100
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

入居者、ご家族、地域、スタッフがそれぞれ心地よく過せる空間を目指しています。生存するのでなく生活する場所を目指しています。
敷地内に畑があり、ボランティアさんの協力により入居者様と一緒に四季の野菜の成長、収穫を楽しむことができます。
また、畑を管理してくれるボランティアさん達による、畑の収穫物をみながら思い出話ができるような機会も提供しています。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	令和2年11月16日	評価機関 評価決定日	令和2年12月23日

※新型コロナウイルス感染予防の為、事業所訪問をせずにオンライン調査を行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所の概要】 この事業所は、相鉄線瀬谷駅から徒歩13分、大和駅から15分ほどの住宅地に位置している。目の前には境川が流れ、戸建ての住宅や畑が点在する自然豊かな環境の中にある。広い敷地に建てられた、軽量鉄骨作り2階建ての事業所は、前に建物が無いため日当たりが良い。広い前庭には菜園があり、地域のボランティアが季節に応じた野菜を栽培してくれている。また、昨年末には、事業所で畑のボランティアグループによる回想法を地域の方も参加して行った。利用者も地域の方と一緒に、野菜にまつわる話や昔話して交流を楽しんだ。</p> <p>【理念に沿ったケアの実践】 利用者の尊厳や人格を尊重して、このホームが利用者にとっての「家」と感じてもらえるように、心を込めた支援をすることを理念に掲げている。毎朝の申し送り時に、職員は理念を唱和して業務に就いている。管理者は職員に、「決して日々のケアの中やレクリエーションなどでも利用者無理強いをしない」「利用者が自分の「家」でリラックスして自分らしく振舞えるように支援する」「利用者を理解して信頼関係を築く」ことが大事と指導している。利用者は好きな新聞や野球雑誌を読んだり、自分の得意な家事や園芸を楽しんだり、それぞれが思い思いの時間を好きな場所で過ごしている。</p> <p>【利用者のADLの変化に伴う福祉用具の無償貸与】 利用者の加齢や重度化に伴い、身体機能の低下や日常生活に支障が生じた場合は、日々の生活の中で必要な福祉用具を運営法人が無償提供している。重度化した場合でもできるだけ日中は他の利用者とのふれあいを大切にして、リビングで過ごしてもらえるようにリクライニングの車いすを提供している。また、福祉用具の導入により、職員が楽な姿勢やポジションで介助できることも大きなメリットになっている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチイケアセンター横浜瀬谷
ユニット名	あじさい

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念は玄関に掲示し公表している。また企業としての社是、経営理念を事務所に掲示し共有している。朝礼や全体会議で周知し、実践している。	事業所の理念は、利用者にとって事業所が「家」と感じられるように利用者本位の支援を掲げている。職員は利用者の理解に努め、利用者が自宅にいた時のようにリラックスして振舞えるように、信頼できる関係づくりを目指している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティアの方に畑の管理をお願いしている。小学校と交流をしていたがコロナウイルス流行により交流が出来ていない状態。	本郷第5自治会に加入して、自治会の段ボール回収などに協力している。新型コロナの感染防止対策として事業所内で外部の方々との交流が出来なくなっているが、野菜作りのボランティアは以前と変わりなく、菜園の手入れに来ている。また、昨年12月には、瀬谷区生涯学級の「白秋の集い」として地域のシニア世代や畑のボランティアによる回想法を利用者も参加して行った。新型コロナ禍以前は地域の小学生との交流も活発にあったが、今は中断している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	管理者が地域のケアプラザなどに顔を出し運営状況や施設情報（ケアの方針など）について説明をおこなっている。		

4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在コロナウイルス流行の為、開催出来ていない状態。</p>	<p>運営推進会議を年6回実施することを課題に挙げていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により今年度も継続課題となっている。家族の参加が少なかつたため、全家族に参加を呼びかけたり、平日だけではなく土曜日や日曜日に開催することも考慮している。</p>	<p>毎回参加メンバー全員が顔をそろえることが難しい場合は、参加しやすい曜日を設定したり、欠席者に文書で運営状況などの報告に加え、意見欄を設けるなどの工夫を期待します。また、今年度も課題になっている年6回の定期開催の実現を期待します。</p>
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>管理者が地域のケアプラザなどに顔を出し運営状況や施設情報（ケアの方針など）について説明をおこなっている。</p>	<p>地域包括支援センターには地域の認知症の方の入居の相談事や事業所の運営状況などを情報提供している。また、行政が主催する研修会も今年度はほとんどないが、6月の感染症対策には参加している。瀬谷区グループホーム連絡会も今年は新型コロナの拡大もあり、総会も文書開催になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	8月に全職員を対象に研修を行い、各職員に意識付けをした。ケア実践の際には研修したことを再度振り返り日々取り組むよう指導している。	毎月、2ユニット合同の業務ミーティングの中で身体拘束適正化委員会を行っている。8月に「高齢者虐待防止法」と「身体拘束の排除」についての研修を行っている。管理者は職員が「待って」という時も、理由を説明して優しい言い方を心掛けることや、職員間で注意をする関係づくりも大切と指導していく方針である。向精神薬を使う場合もできるだけ減薬に取り組んでいる。玄関は開錠しているがフロアに施錠をしている。	玄関の施錠はしていませんが各フロアには施錠をしています。フロアの施錠も拘束に当たることを適正化委員会で取り上げ、職員が見守りしやすい時間帯にフロアを開錠するなどの取り組みを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記同様に研修を行い、各職員への意識付けを行った。ケア実践の際には研修したことを再度振り返り日々取り組むよう指導している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	情報はあがるが、学ぶ機会があまりない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定の際には契約書、重要事項説明書に基づいて説明させていただき、御不安や疑問の残らないよう対応させていただいている。		

10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族様が来訪されたりお電話をいただいた際にお話させていただき、御要望や御意見を頂いている。</p>	<p>昨年のクリスマスには家族会を兼ねたクリスマス会を行ったが、今年度は新型コロナウイルスの影響で家族の参加する行事や面会もできない状況が続いていた。家族の面会もオンラインやビデオ通話でしていたが、家族の直接顔が見たいという声に応え、11月から時間制限などを設け、面会ができるように工夫した。家族の意見や要望などは、電話をした際に聞き取っている。家族から出来るだけ家事や菜園の収穫の手伝いなどをさせて欲しいという声が挙がっている。毎年、法人が行う顧客満足度調査で挙がる家族の意見や、要望などを運営や業務改善の参考にしている。</p>	
----	---	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や申し送り、全体会議などで職員が全員発言できるようにしている。また毎日の業務の中でも管理者に声を掛けやすい雰囲気努めている。	毎月、研修を兼ねた全体会議やケアカンファレンスを兼ねたユニット会議を行っている。当日出席ができない職員には議事録や申し送りなどで周知徹底を図っている。職員からはシャワーチェアなどの物品購入の提案が出ている。法人のキャリアアップ制度を使い、今年度も介護福祉士の資格取得を目指す職員がいる。資格取得費用の補助が受けられ、取得後は、資格手当が付く。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談やキャリアアップ、個々の目標設定等で自己啓発や資格取得、やりがいをもち勤務できるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の情報提供や社内研修の参加を促している。毎日の業務の中でも介護技術の指導を実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	外部研修参加や地域交流などでの活動の情報を頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを基に生活暦を把握し担当スタッフが主になり関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が来訪されたりお電話をいただいた際にお話させていただき、御要望や御意見を頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントを基にホーム長、ユニットリーダー、スタッフ、ケアマネ、訪問医、看護師、歯科医等関係者からの情報収集を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の場である事を踏まえ、それぞれの生活暦、価値観に応じスタッフが入居者同士の関係を築ける様支援している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の生活の中で無理なく協力頂ける範囲を見極め、共に本人を支えて頂ける様、関係を築いていっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	アセスメントの情報や家族の話から過去の思い出に折に触れている。 またいつ誰が来所されても気分よく過ごしていただけるような雰囲気を醸成するよう努めている。	家族との外出や外食、友人や知人の面会などもできなくなっているが、できるだけ利用者の生活の楽しみや毎日の生活習慣や趣味などが継続してできるような支援をしている。アセスメントや、本人、家族からの聞き取りで嗜好品の摂取なども可能な限り支援をしている。野球雑誌や新聞を定期購読したり、園芸の好きな方は庭の菜園で収穫を楽しんでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが気配りを心がけ生活全般に於いて入居者同士の関係を築ける様支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族サービス利用（契約）が終了の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も御家族が来所し馴染みの入居者様と歓談頂ける関係継続に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ADLの低下や認知症の進行により、なかなかご本人の意向を掴みにくい事もあるが、体操、合唱を開催しつつも、ご本人の意思を確認し無理強いはしておりません。	居室担当制を取り、1対1になったときなどに利用者が本音で話ができるように信頼関係を築いている。外出の希望や、食べたい物が、よく話題に出るので、飲み物やおやつのリクエストなど出来る範囲の中で早い対応を心掛けている。重度の方の意向の汲み取りは難しいが、どのような時でも利用者本位で考えて欲しいと管理者は職員に伝えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の生活をご家族の協力も頂いて子供の頃から入所直前まで出来るだけ鮮明に描きだしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	家事の手伝いなども単なる手伝いでは無く生活暦を鑑みて主婦や主夫になって頂ける様に支援しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ホーム長、ユニットリーダー、スタッフ、訪問医、看護師、歯科医、マッサージ師からの情報を収集しながら作成している。	センター方式でアセスメントをしている。入居直後の介護計画は、2か月くらいモニタリングを重ね、見直しをしている。通常は短期目標6か月、長期目標1年で見直している。状態変化などあれば医師や看護師の意見を介護計画に反映させ、必要に応じて随時見直しをしている。家族には介護計画作成時に意見を聞き、要望などを加味している。日々の介護記録は、管理日誌などに介護計画を挟み、計画に沿った記録を心掛けている。	

27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>お客様別に担当者を割り振るとともに、毎月ユニットミーティングでカンファレンスを行い、申し送り事項を議事録で共有している。</p>		
----	--	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご来所時だけでなく電話等でも、ご家族からの相談事を積極的に受けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隣接した大きな畑を入居者と共に数名の地元ボランティアさんが管理して下さっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の意向を大切に、必要時には総合病院で検査を受けたり、担当医が御家族にインフォームドコンセントを実施している。	協力医療機関の内科医が月2回、皮膚科医と精神科医が月1回往診に来ている。内科は利用者全員、その他の科は必要に応じて受診している。協力医は急変や看取り時も24時間オンコールで対応してくれる。歯科医は毎週口腔ケアと必要な治療に来ている。訪問マッサージを受ける方もいる。泌尿器科などの専門科には家族対応で通院しているが、必要に応じて職員が付き添うこともある。かかりつけ薬局が薬の管理を行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	受診時以外にも電話による指示、体調不良時の訪問診断等密接な支援がされている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけ医の協力を得、サマリーや日々のバイタル情報などを提供している。又入退院時の医療機関とのカンファレンスも御家族を交え必要時開催している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	同意を頂いている「重度化した場合の対応指針」に基づき、かかりつけ医、訪問看護師を交え本人・家族等と話し合いを行います。	契約時に重度化した時の対応の説明をして看取りの希望を聞いている。看取りを希望する家族も多くいるが、状態の変化などに応じて再度意思確認をしている。終末期には、医師が同席をして事業所としてできることなどを伝えている。今までに数名の方の看取りを経験している。年1回は、管理者が講師になり研修をしている。経験豊富な職員が多く在籍しているため、特に不安などの声はない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	本社のマニュアルに沿い緊急時や利用者の急変時に対応出来る様定期的訓練を全体会議時に行なっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	行政の指導のもと、年2回の避難訓練を行っている。スプリングクラーを設置した。	3月に日中の火災と水害を想定した自主訓練をしている。今年度中には夜間想定総合訓練を予定している。事業所前の境川が浸水想定区域に指定されているため、近隣の特別養護老人ホームと協力関係を築いている。非常災害時の備蓄は、職員分を含めて3日分を管理台帳で管理しているが、カセットコンロなどの熱源や保温用のシート、毛布類、簡易トイレなどの備えがない。また、家具の転倒防止策が取られていない。	水害を想定した訓練では、協力関係にある特別養護老人ホームまでの避難にかかる時間や、想定される課題を踏まえた訓練が望まれます。また、近隣との災害時の相互協力関係の構築のためにも、地域の災害訓練への参加や、自治会や消防団への協力要請に加え、事業所として地域に貢献できることなどを発信されることを期待します。また、前回の外部評価の目標に挙げた、家具の転倒防止策を期待します。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレや入浴はなるべく同性介護対応をしている又個人名が記載されている書類のコピーは名前にスクランブルをかけている。	毎年の接遇研修に加え、職員は「コンプライアンス・個人情報トレーニング」で理解度のセルフチェックをしている。職員は利用者の人格や羞恥心に配慮して排泄誘導時は小声で声掛けをしている。名前は苗字にさん付けて呼ぶことを基本にしている。家族に信頼を得るには、家族への言葉遣いも大事と管理者は職員に伝えている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話が苦手な方には幾つかの選択肢の中から選んで頂ける様なお声掛けをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかなスケジュールの中、体操、レクリエーション、畑仕事、カラオケ等を行っていますが参加せずお部屋で過ごされる方もいます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	生活暦を鑑みて会話の中からその人らし、身だしなみやおしゃれを探しだし、日々、又理美容の折に援助している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ADLの低下や認知症の進行等で難しくはなっているが、おしぼり作りや食器拭き等できることを模索しながらお願いしている。	食材は業者委託でレシピ付きで配達され、職員が調理している。利用者の誕生日や、行事の時は食材を止め、出前の寿司などを頼むこともある。誕生日には、ケーキを用意してお祝いをしている。重度の方には職員が、とろみや刻み、一口大など様々な食形態にして提供している。利用者は食器拭きや下膳などできることを手伝っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を有効に使い食べる量や水分量を把握し、不足分は、一人ひとりの状態や嗜好に応じた飲食を支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの他に、月4回の訪問歯科での口腔状態のチェック。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンを記録を有効に使い把握しトイレ誘導の回数、時間を工夫し自立に向けた支援を行っている。	布パンツを使用して自立でトイレに行ける方が2名いる。全介助でオムツ使用の方が3名、その他の方はパットにリハビリパンツを使用して日中はトイレで排泄している。夜間は睡眠を優先しておむつを使用したり、パットを厚くしたり、定時交換をするなど、利用者に合わせて負担が無いような支援をしている。入院中にリハビリパンツになった方が、退院後排泄チェック表を基にトイレ誘導したことで、布パンツに改善した事例がある。トイレの清掃は1日2回行い、清潔の保持に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や繊維質摂取の他、慢性的便秘にはかかりつけ医、訪問看護師の指示を受け服薬支援を行っている。		

45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>利用者の希望を尊重し曜日や時間を一人ひとりの習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>入浴は週2回、午前と午後で1日2～3名の方が入っている。湯はかけ流しにしている。重度の方はシャワー浴を使ったり、座位が保てない方には2人対応で入浴をしてもらっている。入浴を好まない方はいないが、その時の気分で気乗りしない時は無理強いをしないように支援している。季節の柚子湯や菖蒲湯は継続して行うことにしている。冬場は、浴室、脱衣場ともにヒートショックに備えた設備を施している。</p>	
----	----	---	---	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	レクに参加せずお部屋で過される方も多いですが妨げる様な事は無く、夜間の室内灯も個々の習慣に応じ工夫した明るさにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の支援はスタッフ同士確認しあいかかりつけ医、訪問看護師の指示を受け服薬支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	体操、レクリエーション、畑仕事、カラオケ等を行っていますが本人の意思を確認し無理強いはしておりません。家事の手伝いなども単なる手伝いではなく生活歴を鑑みて楽しんで頂ける様に支援しております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や畑仕事での外出が主体です。又ご家族との外食機会も多かったですが、コロナウイルス流行の為、現在外部との交流が少ない状態。	新型コロナ禍以前は、家族と外食や外出の機会もあったが、現在はホーム周辺や、すぐ近くの公園までマスクをつけて散歩をしている。広い庭先に出て外気浴をしたり、菜園で野菜の収穫をすることが利用者の楽しみになっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは事務所で預かっておりますが、今後は一人ひとりの希望や力に応じて工夫して参りたいと思います。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りは日常的に支援をしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等は分かり易く表示し、テレビも好きな席で見れる様にしている。	共有空間のリビングは、庭に面した掃き出し窓からの採光が明るく、広々した印象がある。利用者が職員と共同制作した壁の富士山の貼り絵や縫いぐるみのあるリビングで、利用者はソファでくつろいだり、テーブルを囲んで利用者同士で会話を楽しんでいる。新型コロナなどの感染症対策には、時間を決めて換気をしたり、空気清浄機をついた加湿器を設置し、温度、湿度の管理には今まで以上に注意を払っている。毎日の日常清掃に加え、年2回専門業者による床や空調、窓ふきなどの清掃を行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	スタッフが気配りを心がけ生活全般に於いて入居者同士の相性などを考慮した支援をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	我が家で使い慣れた家具や飾り物、仏壇など、本人や家族と相談しながら、心地よく過ごせる様支援をしている。	居室にはエアコン、クローゼットを備え付けている。ベッドは利用者の状態により介護用のベッドが法人から無償貸与されている。利用者は自宅から持ち込んだ家具や仏壇、テレビなどの生活用品を置き、家族や友人の写真を飾る方もいる。自室のテレビで好きな野球や時代劇を楽しんだり、本を読んだりと思い思いの時間を過ごしている。	

55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつできるだ け自立した生活が送れるように工夫している	我が家での生活暦を鑑みその人ら しい力（得意な事）を生かして頂 ける環境作りを支援しておりま す。		
----	--	---	--	--	--

事業所名	ニチイケアセンター横浜瀬谷
ユニット名	ひまわり

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念は玄関に掲示し公表している。また企業としての社是、経営理念を事務所に掲示し共有している。朝礼や全体会議で周知し、実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティアの方に畑の管理をお願いしている。 小学校と交流をしていたがコロナウイルス流行により交流が出来ていない状態。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	管理者が地域のケアプラザなどに顔を出し運営状況や施設情報（ケアの方針など）について説明をおこなっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在コロナウイルス流行の為、開催出来ていない状態。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	管理者が地域のケアプラザなどに顔を出し運営状況や施設情報（ケアの方針など）について説明をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	8月に全職員を対象に研修を行い、各職員に意識付けをした。ケア実践の際には研修したことを再度振り返り日々取り組むよう指導している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記同様に研修を行い、各職員への意識付けを行った。ケア実践の際には研修したことを再度振り返り日々取り組むよう指導している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	情報はあがるが、学ぶ機会があまりない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定の際には契約書、重要事項説明書に基づいて説明させていただき、御不安や疑問の残らないよう対応させていただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様が来訪されたりお電話をいただいた際にお話させていただき、御要望や御意見を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や申し送り、全体会議などで職員が全員発言できるようにしている。また毎日の業務の中でも管理者に声を掛けやすい雰囲気努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談やキャリアアップ、個々の目標設定等で自己啓発や資格取得、やりがいをもち勤務できるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の情報提供や社内研修の参加を促している。毎日の業務の中でも介護技術の指導を実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	外部研修参加や地域交流などでの活動の情報を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを基に生活暦を把握し担当スタッフが主になり関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が来訪されたりお電話をいただいた際にお話させていただき、御要望や御意見を頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントを基にホーム長、ユニットリーダー、スタッフ、ケアマネ、訪問医、看護師、歯科医等関係者からの情報収集を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の場である事を踏まえ、それぞれの生活暦、価値観に応じスタッフが入居者同士の関係を築ける様支援している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の生活の中で無理なく協力頂ける範囲を見極め、共に本人を支えて頂ける様、関係を築いていっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	アセスメントの情報や家族の話から過去の思い出に折に触れている。 またいつ誰が来所されても気分よく過ごしていただけるような雰囲気醸成するよう努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが気配りを心がけ生活全般に於いて入居者同士の関係を築ける様支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族サービス利用（契約）が終了の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も御家族が来所し馴染みの入居者様と歓談頂ける関係継続に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ADLの低下や認知症の進行により、なかなかご本人の意向を掴みにくい事もあるが、体操、合唱を開催しつつも、ご本人の意思を確認し無理強いはしておりません。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の生活をご家族の協力も頂いて子供の頃から入所直前まで出来るだけ鮮明に描きだしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	家事の手伝いなども単なる手伝いでは無く生活歴を鑑みて主婦や主夫になって頂ける様に支援しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ホーム長、ユニットリーダー、スタッフ、訪問医、看護師、歯科医、マッサージ師からの情報を収集しながら作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	お客様別に担当者を割り振るとともに、毎月ユニットミーティングでカンファレンスを行い、申し送り事項を議事録で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご来所時だけでなく電話等でも、ご家族からの相談事を積極的に受けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隣接した大きな畑を入居者と共に数名の地元ボランティアさんが管理して下さっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の意向を大切に、必要時には総合病院で検査を受けたり、担当医が御家族にインフォームドコンセントを実施している。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	受診時以外にも電話による指示、体調不良時の訪問診断等密接な支援がされている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけ医の協力を得、サマリーや日々のバイタル情報などを提供している、又入退院時の医療機関とのカンファレンスも御家族を交え必要時開催している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	同意を頂いている「重度化した場合の対応指針」に基づき、かかりつけ医、訪問看護師を交え本人・家族等と話し合いを行います。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	本社のマニュアルに沿い緊急時や利用者の急変時に対応出来る様定期的訓練を全体会議時に行なっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	行政の指導のもと、年2回の避難訓練を行っている。 スプリングクラーを設置した。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレや入浴はなるべく同性介護対応をしている又個人名が記載されている書類のコピーは名前にスクランブルをかけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話が苦手な方には幾つかの選択肢の中から選んで頂ける様なお声掛けをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	おおまかなスケジュールの中、体操、レクリエーション、畑仕事、カラオケ等を行っていますが参加せずお部屋で過される方もいます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	生活暦を鑑みて会話の中からその人らし、身だしなみやおしゃれを探しだし、日々、又理美容の折に援助している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ADLの低下や認知症の進行等で難しくはなっているが、おしぼり作りや食器拭き等できることを模索しながらお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を有効に使い食べる量や水分量を把握し、不足分は、一人ひとりの状態や嗜好に応じた飲食を支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの他に、月4回の訪問歯科での口腔状態のチェック。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンを記録を有効に使い把握しトイレ誘導の回数、時間を工夫し自立に向けた支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や繊維質摂取の他、慢性的便秘にはかかりつけ医、訪問看護師の指示を受け服薬支援を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望を尊重し曜日や時間を一人ひとりの習慣に応じた支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	レクに参加せずお部屋で過ごされる方も多いですが妨げる様な事は無く、夜間の室内灯も個々の習慣に応じ工夫した明るさにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の支援はスタッフ同士確認しあいかかりつけ医、訪問看護師の指示を受け服薬支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	体操、レクリエーション、畑仕事、カラオケ等を行っています が本人の意思を確認し無理強いはしておりません。家事の手伝いなども単なる手伝いではなく生活暦を鑑みて楽しんで頂ける様に支援しております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や畑仕事での外出が主体です。又ご家族との外食機会も多かったですが、コロナウイルス流行の為、現在外部との交流が少ない状態。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは事務所で預かっておりますが、今後は一人ひとりの希望や力に応じて工夫して参りたいと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りは日常的に支援をしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等は分かり易く表示し、テレビも好きな席で見れる様にしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	スタッフが気配りを心がけ生活全般に於いて入居者同士の相性などを考慮した支援をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	我が家で使い慣れた家具や飾り物、仏壇など、本人や家族と相談しながら、心地よく過ごせる様支援をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	我が家での生活暦を鑑みその人らしい力（得意な事）を生かして頂ける環境作りを支援しております。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 ニキックスセクター横浜瀬谷

作成日 2021.2.16

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議が行えていない。	現在コロナウイルス流行の為に文章での運営状況の報告を行う。	現在コロナウイルス流行の為に運営推進会議を行えない状態なので、流行が収まるまでは関係者に文章で運営状況の報告を行う。	2ヶ月
2	6	玄関の施錠は行っていないが各フロアの施錠を行っている	各フロアの施錠の解除	スタッフが多くいる時間など余裕がある時間はフロアの施錠を行わず、少しずつ施錠をしない時間を増やしていく。	6ヶ月
3	35	家具の転倒防止策がとられていない。	家具の転倒防止策を行う。	拠点、ご家族様で転倒防止器具を購入し設置する。	6ヶ月
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。